

開講学科	基礎教育センター	前橋工科大学 シラバス			
科目名	ドイツ語	標準対象年次	選択/必修	科目コード	
		2年次	選択	11002601 11002602	
担当教員	二瓶 尚	単位数	学期	曜日	時限
		2単位	前期 後期	金曜日	5時限
授業の教育目的・目標	様々な文化への関心や理解を喚起し、教養の深みと広さを滋養するための基礎を育成することを目指す。				
学科の学習・教育目標との関係	ドイツ語の構造の学習を通して、ドイツ人の思考及び文化を理解し、自己の思考の枠組みを広げる。				
キーワード	ドイツ語の基本構造の理解				
授業の概要	“英語との比較”を通してドイツ語独特の構造の基本を明示し、是非とも必要なドイツ語の約束事を発音と共に修得する。練習問題の演習を中心に進め、項目毎に始めに重要事項を説明し練習問題を反復する。ある程度進んだ時点で小テストを実施する予定。簡単なドイツ語表現なら迷わずにでき、辞書さえ使用すれば初見の表現でも理解できる点まで到達することを目標にする。				
授業の計画	第1回：	ドイツ語の特徴や歴史、授業の進め方等を具体的に説明する。併せて使用するテキストや辞書についても触れる予定。			
	第2回：	ドイツ語の発音、ドイツ語の語順、簡単な挨拶の会話。特に発音に関してはプリントを用いて詳しく学習する予定。復習を望む。ドイツ語の発音の仕方がわかればドイツ語への親しみや興味が湧き、以後の理解度も全く違ってくる。(1)			
	第3回：	前回の継続。ドイツ語の数字も覚える。			
	第4回：	さまざまな質問をするのに必要な種類の疑問詞、動詞の現在形を学習する。併せて主語となる代名詞も学ぶ。			
	第5回：	重要な動詞3個、sein, haben, werden の変化と使い方。			
	第6回：	名詞の性、ドイツ語の最も大切な冠詞を学習する。冠詞はドイツ語そのものと言ってもいいほど重要な言葉で、英語の冠詞とは違った性質を持つ。冠詞を理解できればドイツ語の基礎の半分以上は身に付けたと言っても過言ではないくらいである。日本語では名詞の後に助詞を付けてその単語の働きを表す。例えば、「犬」の後に「は」を付けて、犬は。ドイツ語は Hund(犬)の前に、定冠詞 der を付けて、[der Hund] (その犬は) となる。			
	第7回：	前回の継続 (2)			
	第8回：	英語の「a」の意味を持つ不定冠詞「ein」の学習。			
	第9回：	前回の継続。(2)			
	第10回：	定冠詞、不定冠詞、両方を使ってまとめを行う。ここまででドイツ語の基本の半分は理解したことになる。			
	第11回：	前回の継続、及び冠詞の反復。(2)			
	第12回：	ドイツ語の数字を0から100まで覚え、足し算や引き算ができるようにする。			
	第13回：	これまでの学習を基にして、自己紹介の情報を互いにやり取りする。			
	第14回：	まとめを兼ねて学期の途中で小テストを行う。成績評価の一部になるが、それよりもそれまでに学習したことを定着させる手段として利用してほしいと思う。			
	第15回：	まとめ			
受講条件・関連科目	特に予め必要な知識はない。全くの初心者を対象にした授業。				
授業方法	テキストを中心に、プリントの演習。負担にならない程度の課題学習。				
テキスト・参考書	第1回目の授業にて指示する。				
成績評価	・試験 (80%) ・レポート (0%) 小テスト (20%)				
履修上の注意					